



主権者教育の在り方について

内閣府青少年問題調査研究会

自己紹介と活動のきっかけ

越智大貴 / オチセン

NPO法人 NEXT CONEXION

NPO法人 NEXT CONEXION 代表理事

公文式 教室スタッフ

松山NPOサポートセンター 運営協議会 運営委員

NPO法人ワークライフ・コラボ 理事

松山市選挙管理委員会 選挙クルー

松山市人権啓発課 人権啓発推進委員

松山市清水地区まちづくり協議会教育文化部長

愛媛県今治市出身 松山在住

愛光学園 愛媛大学・大学院

シティズンシップ教育・主権者教育に関する事業

社会科・よのなか科教育に関する事業

選挙・人権啓発に関する事業

まちづくりや地域活性化に関する事業

『どうして勉強ってするんだらう？』

多くの友達が...
東大 or 医学部

自分は
勉強せず

愛媛大学法文学部（夜間主）

多くの友達が...
東大 or 医学部

“何かのため”にする勉強は、本当に面白い！

「自分は特別じゃなかった」という安心感

➡中高生がみんな思っていること

学校の 授業

暗記
知識重視

実際の よのなか (社会)

実践
生きる力

学校の
授業

実際の
よのなか
(社会)

暗記
知識重視

実践
生きる力



学びづくり事業

シティズンシップ（主権者意識）を育む
教育プログラム

civic-10歳からのよのなかレッスン
出前講座



よのなかづくり事業

シティズンシップ（主権者意識）を育む
体験・実践プログラム

こどもタウン
こどもタウン・ユニバーシティ
啓発活動

シティズンシップ教育
主権者教育



civic

10歳からのよのなかレッスン

● プログラムの種類

キャリア・まちづくり編（全12回）

道徳・人権編（全12回）

1

自分の未来からよのなかが見える。

自分が18歳になったときに、どういう生活をしているのかをシミュレーションし、働くことやお金の使い方、経済の仕組みについて学びます。
(全4回)

よのなかと「自由」の関係

様々なシチュエーションを設定し、マナーとルールの意味やよのなかにおける自由と責任について学びます。
(全4回)

2

身近な街の中の自分とよのなか

市長や市議会議員になって、政治や行政の役割をシミュレーションし、街の仕組みを学んだり、自分達の生活と政治の関係について学びます。
(全5回)

生きることの価値を考える。

法的にこどもはいつから大人になるのかを模擬裁判を通じて考えたり、個人の命の自由はどこまで許されるのかを学びます。
(全5回)

3

世界の中の自分とよのなか

食べ物の問題やエネルギーの問題を考える中で、世界と自分達の生活のつながりを知り、様々な課題にどのように関わるべきかを学びます。
(全3回)

多様な生き方と文化を考える。

実際の社会問題や多様な文化・宗教を知る中で、自分達が責任ある一市民としてどのようによのなかと接するべきかを学びます。
(全3回)

civicのナカミ



学び合うときの5つのマナー

悩んだら考えを見せ合おう！

：みんなで学びあう。

「なぜなら」を考えよう！

：その答えにある理由を考える。

大きめにつぶやこう！

：「自分なりの答え」を出し合う。

「なるほど」と思ったら拍手！

：他の人の答えも大切にメモする。

時間内で決めることに挑戦

：時間内で「自分達なりの答え」をまとめる。

活動の実績

civic-10歳からのよのなかレッスン

実施回数：42回 参加人数：のべ500人以上

出前講座

実施回数：19箇所

大学4回、高校11回、中学校1回、

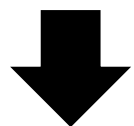
特別支援学校1回、その他2回

私立高校で行った主権者教育

毎週2回、1年実施

対象は高校3年生

政治経済の授業枠



今ある授業の活用

政治分野

こどもはいつから大人になるのかを考える。

家計から、出費の多い食費や社会保障について考える。

自由貿易と保護貿易 / 円高円安と世界経済

将来への投資と社会保障

大きな政府・小さな政府を議論する。

人権分野

ヒトのカラダはどこまでいじくってもいいのかを考える。

整形や再生医療、臓器移植 / 自殺と安楽死

少年法を議論する。

政治的中立性の確保 = 授業の透明性

【参加者】ゲスト講師・大学生・メディア関係者

学校の負担減



先生とは違う立場の大人が授業に参加

多様な意見が出る、授業にも厚みが

投票意識の推移

